

中国における「池田思想」研究の動向（13）

高橋 強

1. 池田思想研究の学術シンポジウム等

(1) 第10回「池田大作平和思想研究国際フォーラム」

2016年3月2日台湾台北市の中国文化大学にて、学者や学生約400人が参加し、「平和・文化・教育——人間主義の世紀の共創」というテーマのもと上記フォーラム（同大学池田大作研究センター主催）が開催された。同フォーラムでは11大学から19名の学者が論文発表した。

今回のシンポジウムは基調講演が行われなかったが、劉焜輝教授（中国文化大学）より、それに相当する論文発表が行われたのでその要旨を紹介する。

「人間主義の世紀」の樹立は池田大作氏の一貫した目標で、「人間性の変革」は同氏が提示した「人間革命」の必然的帰結であり、人間性の変革なくして人類の平和も達成しない。「人間主義の世紀」は必然的に「人格の尊厳」を前提としている。弱肉強食や暴力が席卷する世界では、人間と人間との対立が顕著となり、国と国との衝突も間断がなく、従って二十世紀の戦争の世紀から二十一世紀の平和人権の世紀への転換も困難な過程となっている。同氏は人間性の改造から平和問題を考察する。即ち、人生を開き、無限の生命力を開発するこの「人間革命」こそが、滅亡の危機を救うことができるということである。同氏が強調する変革とは、精神の変革でもあり、精神の変革には倫理が必要で、多元化の世界に向かう必要がある。

以下、「会議日程」に基づき発表論文のテーマを紹介する（以下敬称略）。

午前中、以下の分科会が開催された。

第1分科会

林彩梅「人道の世紀——大学教育の使命」（中国文化大学）

呉安妮「池田大作先生の『人間』思想の作業価値管理に対する影響」（政治大学）

河瑛愛「趙永植と池田大作の平和運動実践の比較研究」（韓国・慶熙大学）

第2分科会

陳鵬仁「平和の哲学と詩心を再び語る」（中国文化大学）

周建享『『人道の世紀へ誓いの連帯——地球上から悲惨の二字をなくす』を読んで——仏教の積極的入世観を考える』（中国文化大学）

第3分科会

李彦良「正心と私心」（中国文化大学）

陳尚彦「共々に人間世紀の構築を」（萬能科技大学）

劉廷揚「池田大作対話思想の教育現場での実践」（高雄師範大学）

午後、以下の分科会が開催された。

第1分科会

劉広英「中華民国政治家、張其昀博士」（中国文化大学）

王吉林「寛容は平和の基礎」（中国文化大学）

周健「池田大作の宇宙観から神秘の天文現象を論ずる」（中国文化大学）

高橋強「牧口常三郎の『郷土民、国民、世界民』思想緒論」（創価大学）

劉焜輝『『人間変革』は人道の世紀構築の前提条件』（中国文化大学）

第2分科会

葛瑞森「A Commentary on the English Version of Chi Yun Chang's Book」（中国文化大学）

唐彦博「池田大作先生の人道の世紀構築提言を實踐し、兩岸の平和共生の發展を開く」（台北海洋技術学院）

鄧旭茹「台湾の食品安全教育——平和文化經營理念を理論的基礎として」（中山医学大学）

第3分科会

林廷璘「池田人道主義から今日の教育、社会、環境を論ずる」（致理技術学院）

黄大璋「池田人間主義思想の現代教育への示唆」（台北城市科技大学）

袁秀華「池田大作思想及びその淵源を論ずる」（広西師範大学）

（2）第13回「サービス業管理とイノベーション」学術シンポジウムでの基調報告

5月13日台湾台南市の南台科学技術大学にて、上記学術シンポジウム（同大学商管学院、国立澎湖科学技術大学人文管理学院、中華サービス管理学会主催）が開催され、「池田大作の平和共生思想から『職業倫理』の重要性を論ずる」のテーマのもと4名の研究者による基調報告が行われた。

発表者とテーマは以下の通りである。

林彩梅「平和共生精神の職業倫理に対する重要性」(中国文化大学)

高橋強「人道主義競争と共生」(創価大学)

唐彦博「池田大作の環境共生倫理思想について」(台北海洋技術学院)

劉廷揚「池田大作の平和共存思想の職業倫理の三側面に対する影響」(高雄師範大学)

(3) 第9回「池田大作思想国際学術シンポジウム」

10月22日、23日天津市にある南開大学にて、「民間外交と文明の融合」のテーマのもと上記シンポジウムが開催された。これには中国国内外の50大学・機関から研究者約140名が出席した。提出論文は78本であった。

基調報告においては2名の研究者より全体テーマに関する問題提起がなされたが、ここでは代表として温憲元教授の内容を簡潔に紹介する。

温憲元「池田大作の創価理論体系の全体的な枠組みを論ずる」:

池田思想研究を展望したい。今後、創価学会やSGIの発展を促すためにも、池田思想研究は新たな段階を迎えており、更に多くの成果を出していく必要がある。その中でも特に、池田思想の理論的な体系化に取り組むことが急務であると考えるので、その一つの思案を提示したい。

池田思想の理論体系には、①一つの核心、②五つの要素、③五つの特徴、④十五の具体的な内容があると考えられる。①核心とは「創価」のことである。創価とは、人間の生命の価値を創造するという意味である。②五つの要素とは、教育を根本に、文化を基礎に、人間学を主体に、人間主義を中心に、平和を目標にするという内容である。③五つの特徴とは、前述の五つの要素の特徴として、教育性、社会性、主体性、人間性、世界性を提示することができる。

④十五の具体的な内容とは、前述の五つの特徴の根拠となる池田氏の代表的な言説のことで、それぞれ三つずつ提示することができる。(紙面の関係でそれぞれ代表的な内容を紹介する。教育性：教育は次の世代を育成する大事業である。社会性：文化とは、郷土を人間生命が脈動する地とするものであって、最も普遍的な要素である。主体性：人間生命は一方では個人的存在であるが、他方、生命の深層領域では宇宙生命と合体している。人間性：地球上から悲惨の二字をなくし、人間主義の世紀を創造する。世界性：世界平和を構築する鍵は、家庭から「平和の文化」の構築を開始し、万年の未来の為に、「平和の種」を植えていくことである。)

これらが重なり合いながら池田氏の創価理論は体系化されていくものと考えられる。

以下は提出された論文である(「会議手冊」掲載順、敬称略)。

10月22日午後

「平和主義」セッション

- 曲徳林「文明間対話の中日民間友好促進に対する価値」(清華大学)
- 袁秀華、周長山「池田大作の人間と自然の調和観の現代的価値を論ずる」(広西師範大学)
- 野原耕平「池田大作の世界宗教観を論ずる」(広東外語外貿大学客員研究員)
- 卓光平「墨家思想の現代への伝承と価値的实践——魯迅『非攻』の池田大作の“平和行動主義”に対する示唆」(紹興文理学院)
- 衡中青「池田大作研究の文献計量分析」(佛山科学技術学院)
- 鄭文娟「池田大作平和思想における女性の力」(南開大学)
- 王夏冰「歴史の主角と平和の旗手——21世紀の池田大作思想における女性と外交」(安陽工學院)
- 馬利中、葉蓉「“一帯一路”は東アジア区域の協力と民間外交を推進する土台——池田大作の平和文化思想を論ずる」(上海大学)
- 曹剛「大倫理的視野に立った地球的管理——池田大作の大倫理学を論ずる」(中国人民大学)

「文化主義」セッション

- 河瑛愛「趙永植と池田大作の民間外交と文明融合に関する研究」(韓国・慶熙大学)
- 譚桂林「池田大作の文学における外交的テーマ」(南京師範大学)
- 万偉成「池田大作と伝統的儒家文明の価値に関する普遍的意義——ハンチントンの『文明の衝突』にも論及して」(佛山科学技術学院)
- 汪鴻祥「21世紀の文明融合の意義と趨勢——池田大作の文明観」(創価大学)
- 朱海龍「ネット社会の民間往来と文明の融合」(湖南師範大学)
- 韋立新「“対話”を強調する民間外交家——池田大作の“対話”の理念と実践」(広東外語外貿大学)
- 張姪萍「日本映画の中国における伝播過程とその影響」(延安大学)
- 劉嶺峰「明清時期のマカオの宣教師と民間文化交流——印刷出版を例として」(佛山科学技術学院)
- 賈凱「池田大作の平和文化観」(南開大学)
- 藤田陽三、竹下浩子「『青年抄』読書会の実践報告」(西安培華学院)

「教育主義」セッション

- 劉愛君、姜明「池田大作の民間交流理念と実践の中国留学の学生教育に対する示唆」(大連工業大学)
- 姚朝文「牧口常三郎、池田大作教育思想の基礎教育段階における実践」(佛山科学技術学院)
- 洪剛「平和に向かっての金の橋——池田大作の平和教育理念」(大連海洋大学)
- 曹婷、常娜「池田大作の牧口常三郎創価教育思想に対する継承と発展」(陝西師範大学)
- 森佳子「創価教育実践：優れた実践こそが最も素晴らしい教育理念」(大阪芸術大学)

李文、王麗榮、陳騰華「現代の諸問題に対する徳育の回顧——池田大作の徳育思想を例として」
(中山大学)

蔣菊「文明の融合と教育」(肇慶学院)

劉焜輝「人間主義教育思想は文明融合の礎石——池田大作、デューイ思想を中心として」(中国
文化大学)

李鋒「池田大作平和思想に基づいた国際文化教育研究」(佛山科学技術学院)

「人間主義」セッション

黄順力「文明融合を視野に入れた民間外交——池田大作の民衆パワー思想」(厦門大学)

叢暎波「池田大作の幸福に関する思想及びその現代への示唆」(東北師範大学)

趙静、王麗榮「池田大作の個性の開発及びその思想の研究」(中山大学南方学院)

崔学森、朱俊華「1970年代の中ソ対立緩和への日本の民間の要素——池田大作の中ソにおける活動を中心として」(大連外国語大学)

胡令遠「池田大作先生の初期欧州思想界との結び付き——“EUの父”カレルギーの果たした役割」(復旦大学)

王雪超「30年来の池田大作研究の回顧と考察」(天津師範大学)

馬明衝「定義学の視点から見た“民間外交”と“人間外交”の概念——池田大作の外交思想を例として」(山東大学)

蔡端燕「生命の尊厳：池田大作の民間外交と文明の融合の認識的基礎」(仲愷農業工程学院)

陶金「東方文明の対話の先駆者池田大作——池田大作の“人間主義”的対話思想の特色」(大連海事大学)

冉毅「池田の“民間外交”が文明融合を促進するという思想の変遷」(湖南師範大学)

10月23日午前

「平和主義」セッション

唐彦博「池田大作の平和共存地球社会から中国の調和社会の構築を講ずる」(台北海洋技術学院)

陳祥、雷毅「池田大作の平和思想及び戦後の国際秩序に対する構想」(清華大学)

李彦良「『正心』は積極的平和の基礎」(中国文化大学)

高橋強「『郷土民、国民、世界民』思想の民間交流に対する示唆」(創価大学)

傅紅英「女性の力を結集して、人類の平和と幸福を推進——池田大作と魯迅の女性観の比較研究」(紹興文理学院)

王沢応「池田大作の生命価値及びその尊厳学説の探求」(湖南師範大学)

「文化主義」セッション

- 馬樹茂「中日禅宗美学の比較研究」（西安培華学院）
董芳勝「音楽芸術形成の『対話交響曲』の意義——池田大作と Jutta Unkart-Seifert の対話集の分析実践」（創価大学）
陳鵬仁「人類と宗教」（中国文化大学）
柳媛、王麗榮、夏銀平「池田大作の歴史観を論ずる」（中山大学）
陸陽「周恩来と池田大作の共通価値認識を論ずる」（南開大学）

「教育主義」セッション

- 施曉光、王小青「創価大学の『草創の歴史』の我が国の新しい学部学院に対する示唆」（北京大学）
章舜欽「池田大作の人間主義道徳教育思想研究」（厦門大学）
李丹「池田大作の人間主義教育思想の大学生の成長に対する応用研究」（大連芸術学院）
奥田真紀子「教学をもって池田生命尊厳思想の実践を証明する」（電子科学技術大学中山学院）
袁婧「池田大作の『幸福教育』の下での学生自己管理を論ずる」（南開大学）

「人間主義」セッション

- 劉建榮「文化における女性——池田大作の『女性へ贈る箴言』を読んで」（湖南師範大学）
拜根興、周婷婷「池田大作の持続可能発展思想を論ずる」（陝西師範大学）
高岳倫、蔡立彬「中日民間外交の傑出した使者及びその貢献と示唆」（仲愷農業工程学院）
浅井康子「『対話』を通じた交流の展開——池田思想の根底にある尊敬精神」（広東外語外貿大学研究員）
浅井治「池田 SGI 会長の対話を通じた多様な文明との平和交流」（広東外語外貿大学研究員）

「青年フォーラム」

- 楊曉成「池田大作の文化交流思想」（南開大学）
蒙古貞夫「池田大作と蒙古民族自然観との共通点及びそこからの示唆」（創価大学）
潘承健「覚醒と共生——池田大作の人間教育理念」（貴州大学）
孫幸幸「青年の使命——光輝く世紀に向かって」（陝西師範大学）
呉迪「他力本願的な教え方に対するある側面的な反省——教育目的と教育手段の関係に関する検討」（慶応義塾大学）
代如意「池田香峰子と池田大作の女性観」（陝西師範大学）
方洵業「『調和と生命尊厳の社会へ』——第4章調和理念の復権」（貴州大学）

（4）その他（学部生、院生、学生団体等のシンポジウム）

- ① 10月31日大連工業大学にて、同大学「池田大作思想研究所」主催の「同研究所設立5周年フォー

ラム」が行われた。同フォーラムでは、教員や学生及び大連市の大学で池田研究に携わる学識者らも登壇して、研究成果を発表した。

- ② 11月26日中国文化大学にて、同大学池田大作研究センター主催の第4回「国際青年フォーラム」が「21世紀の青年——平和、文化及び教育」と題して行われた。これには13の大学から約200名が参加した。発表論文は29本であった。以下、分科会順に発表者とテーマを紹介する。

「第1分科会」

林佩玟「金融事件の利益関係と汚職——人間主義で心の変革を」(中原大学)

王荣彬「『平和の哲学、寛容の智慧』の示唆から多元文化、宗教的差異及び友誼の尊重という考え方を考察する」(中国文化大学)

徐慶飶「池田大作平和思想から文明の衝突の本質を考察する——中東地域を例として」(政治大学)

林欣諭「法華経の妙音菩薩品から音楽の平和に対する影響力を論ずる」(台湾師範大学)

鄭越洋「池田大作の寛容思想分析」(湖北大学)

「第2分科会」

劉韋廷「『未来の教育という聖業を開く』を読んで」(中国文化大学)

施孟殷「『教育と文化の王道』を読んで」(中国文化大学)

林振宇「人間教育思想の教師が科学技術教学を用いて学生の講読学習を向上させることに対する示唆」(政治大学)

唐宇聡「教育の『求同』から『求異』への転換を論ずる」(湖北大学)

孟慶霖「教育のあるべき姿、三題——池田大作の教育論に関する著作を読んで」(湖北大学)

「第3分科会」

鄭禹「『天文学と仏法を語る』を読んで」(中国文化大学)

張棋榕「人間変革の行動——『小我の人生』から『大我の人生』への変革」(東海大学)

王文彬「池田大作の仏法思想の世界平和に対する考察」(中山大学)

廖品瑄「科学技術、人間と平和」(台湾科学技術大学)

黃馨儀「青春対話の友情と愛情論」(中国文化大学)

「第4分科会」

廖怡臻「池田大作著『母と子が手を携えて前進』から家庭教育が子供に与える幸福な児童期を考察する」(中国文化大学)

陳莉婷「六波羅蜜から池田大作の平和教育思想を考察する」(中国文化大学)

曹議文「池田大作教育思想における意思疎通式英語教育と学習」(輔仁大学)

王曉男「対話式徳育の家庭教育への応用に関する考察」（湖北大学）

邢玥「“教師の果たす役割への期待”の教師という職業の発展に対する示唆」（湖北大学）

「第5分科会」

陳曉函「道德標準の高低から食品安全政策の優先性を考察する」（中山医学大学）

魏晴瑄「池田大作思想から高齢化社会を考察する」（中正大学）

羅巧容「人間革命から環境と永続的発展を考える」（交通大学）

肖雨潔「文化人を以て初等教育ブームの本質を論ずる」（湖北大学）

龔颯芬「宗教の復興は高度科学技術の平和な時代を促進する——21世紀の平和と宗教」（中国文化大学）

「第6分科会」

洪明華「科学技術医療と健康人生」（台湾大学）

張芸蓓「池田大作思想の個別化医療の発展に対する影響」（台湾大学）

蔡承諺「池田大作の人間主義を以て近代医学の人類の生死に対する蔑視を考察する」（台湾大学）

吳禹廷「企業の商談における利、美、善」（中国文化大学）

③ 12月3日、南開大学「周恩来・池田大作研究会」（学生団体）が創価大学中国研究会訪中団と共に同研究会「発足10周年記念交流会」を開催し、双方が研究活動の報告を行うなかで、中日友好、世界平和と青年の果たす役割等について意見交換した。

④ 12月3日、仲愷農業工程学院「廖承志と池田大作研究会」が「12.5」周恩来総理と池田大作氏との歴史的会見を記念して座談会を開催した。これには同学院の学生、教職員及び中国留学中の本学の学生も参加し、池田氏の「68年日中国交正常化提言」や「12.5」の会見の意義等を学習した。

2. 新設の池田大作研究機関

(1) 中山大学南方学院「国際教養教育と池田大作研究所」（2016年7月設立）

所長：王麗榮教授 副所長：黃家瑜博士

設立趣旨：1) 素質教育を総合的に推進し、実践教育を強化し、国際的視野を拡大し、文明対話を促進すること。2) 著名な教育者：池田大作の「人間主義、人類の恒久平和、中日友好」理念を探求し、アジア太平洋の諸問題に展開すること。

(2) 蘇州大学敬文書院「池田大作中日友好思想研究会」（2017年1月設立）

設立趣旨：調和と共生の哲学を探求し、中日友好の歴史を継承し発展させること。

なお、同会は敬文書院院長羅時進教授を中心に運営される。

3. 池田研究の成果等

中国文化大学・池田大作研究センターが『池田大作思想研究論文集』（第11冊 2015年12月）、『展望 21世紀的和平、文化与教育論文集』（第三冊 2016年7月）を発刊した。

寺西宏友、蕭正洪主編『开创精神丝绸之路的新纪元』（社会科学文献出版社 2016年8月）が発刊された。

高岳倫『中日友好的兩位使者－廖承志与池田大作研究文集』（安徽人民出版社 2016年8月）が発刊された。

南開大学「周恩来・池田大作研究会」が雑誌「金橋」（第6期 2016年10月）を発刊した。

なお日中友好学術研究助成プログラムで、「戦後日本の文化言語における『池田魯迅』——池田大作の魯迅に対する宣揚の文献整理と研究」が出版助成として、また「経済発展と環境保護の関係：池田大作と自然調和観の現代的価値を論ずる」、「創価大学の教育理念研究」が日本滞在研究助成として採択された。